

# 積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年7月7日 No. 17 文責：佐野紳二

## 7月・1学期のまとめの時期です

今日は7月7日、七夕（たなばた）です。七夕といえば「織姫と彦星」の話が有名ですが、ちょっと調べてみると「五節句のひとつで、縁起の良い『陽数』とされる奇数が連なる7月7日の夕べに行われるため『七夕の節句』という。また、笹を用いて行事をすることから、別名「笹の節句」と呼ばれている。」なんていう説明が書いてあったりします。

五節句（ごせっく）とは

1月7日：人日（じんじつ）の節句

七草がゆを食べて1年の豊作と無病息災を願う。

3月3日：上巳（じょうし）の節句

ひな祭り。女の子の誕生と成長を祝う。

5月5日：端午（たんご）の節句

子どもの日。男の子の誕生と成長を祝う。

7月7日：七夕（しちせき）の節句

短冊に願いを込めて笹に飾ると願いが叶う。

9月9日：重陽（ちょうよう）の節句

寿命が延びると言われる菊を供え、不老長寿や繁栄を願う。



以前は学校でも「七夕集会」なんていう行事があり、短冊に願いを書いて紹介したり、全校で竹（笹では飾りきれないから竹を使っていた）に短冊を飾ったりしたこともありましたが、最近ではいろいろな理由から、ほとんどの学校で行われなくなりました。本校でも七夕に関連する行事は行っていませんが、先日、社会科見学に行った3年生は安藤家住宅で短冊を笹に飾って来ました。

そんな7月ですが、学校では「1学期のまとめの時期」になります。子どもたちの学習の様子を評価するためのテストをたくさんしたり、机の中やロッカーを整理したりするので、子どもたちも先生方もちょっと忙しさを感じる時期です。加えて、梅雨の末期になり、雨の日が多くなるので、何となくだるかったり気分がスッキリしなかったりします。（先日の「チョコちゃんに叱られる」でこのあたりのメカニズムを紹介していましたね）

今年の夏休みは7月21日から（ほかの学校よりちょっぴり早め）です。1学期も残りあと2週間になりました。しっかり体調を整え、最後のまとめに取り組んでほしいと思います。



## 小笠原流礼法を取り入れた道徳の授業

南アルプス市では、平成27年度からすべての小中学校で小笠原流礼法を道徳の授業の中に位置づけ、講師の先生（本校は西海師範）に来ていただいて授業を行っています。また、授業だけではなく様々な場面で「小笠原流礼法」の所作を取り入れています。授業の始めと終わりには、子どもたちと教師でお互いに「はじめましょう」「終わりましょう」（高学年では「お願いします」「ありがとうございました」）のあいさつを交わし、一礼します。このとき、言葉と一礼は別にして行っています。相手を敬う気持ちを表すのに、言葉と動作を別にするので、その一つ一つに心を込め、よりその気持ちを表すことになるということです。つまり、始めに言葉を伝え、そのあとに一礼をするのです。このほうが相手を敬う気持ちを表す所作になるそうです。（ちなみに、最上級に敬う気持ちを表すのには、＜礼＞→＜言葉＞→＜礼＞とするそうです）

火曜日の授業では、3年生がものの受け渡し方を、4年生が正しい姿勢とあいさつの仕方を教えていただきました。3年生も4年生も、西海師範の話や説明にしっかり耳を傾けて学ぼうとする姿勢が見られ、素晴らしかったです。

\*本来、小笠原流礼法の授業は撮影禁止なのですが、西海師範にお願いをして特別に児童の様子を撮影させていただきました。



\*写真は上段が3年生「ものの受け渡し」下段が4年生の「正しい姿勢とあいさつの仕方」の様子です。

## 音楽室から美しい調べが♪ 6年生 ラバーズ・コンチェルトの合奏

校長室で仕事をしていると、どこからか大太鼓の「ドーン」という音が聞こえてきました。どこの学年の音楽かな？と思って校舎内を歩いていると、音楽室で6年生が合奏をしていました。39人の6年生が4つのグループに分かれ、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、大太鼓、小太鼓、アコーディオン、キーボードなど、いろいろな楽器を使った合奏を発表し合いました。どの班も上手で、思わず拍手を送ってしまいました。

また、（偶然なのかもしれませんが）グループごとに微妙に使っている楽器が異なり、（特に太鼓は班によって随分違いがありました）その違いによって、演奏のニュアンスもそれぞれに異なっていて、とても面白かったです。今年のドレミファ発表会では6年生のどんな発表が聴けるか、今からとても楽しみです。ね。（^^♪

